



久中だより

30

いわき市立久之浜中学校通信

No.30

平成29年5月8日発行



保護者の方がいっぱい授業を見に来てくれたので嬉しそうな表情の1年生です。1年生は国語、2年生は音楽、3年生は数学、それぞれ学級担任の先生の授業を参観してもらいました。

4月28日(金)13:30から各学年とも授業参観を実施しました。各学年とも多数の保護者の方に参観いただき、ありがとうございました。

1年生は嬉しさを素直に表情に出していました。2年生は、歌声をとおして気持ちを表していました。3年生は、問題を解いていたため、やや硬い表情ではありましたが、時折、気恥ずかしそうな表情を見せていました。自分が学習している場面を見守ってしてもらえることは、安心につながるんですね。

当日は、授業参観に引き続き、学年懇談・PTA総会・部活動保護者会を開催しました。お忙しい中、多数の保護者の方々に参加いただきありがと

うございました。さらに、夕刻からは本校・久之浜一小・二小の代表の保護者や先生方が一堂に会し小中連携推進会議を開き、学習指導・生徒指導・家庭教育のあり方について協議しました。

久之浜地区では、かねてから小学校2校と本校とで小中連携推進事業に取り組み、大きな成果をあげています。

義務教育9年間を大きなくくりとして捉え、学校と家庭・地域が連携して地域の子供たちの健やかな成長を支援していく基盤がつくられています。今後とも、知・徳・体のバランスのとれた子供たちを育むため連携・協力して教育を推進していきます。

家庭や地域と共に子供を育てます

生き抜く力を育む避難訓練を提案します

5月1日(月)午前10:26に緊急地震速報を流し「物が落ちてこない・倒れてこない・移動してこない場所に身を寄せなさい。」と、一斉放送をかけました。さらに、その2分後「2階連絡通路が倒壊の恐れあり。直ちに校庭に避難しなさい。」と二次避難の指示を出しました。

あえて、生徒がまとまった活動をしていない、しかも、予告していた時間帯と違う時刻に避難訓練を実施しました。先生方の避難誘導なしに、危険を回避し、いかに迅速に行動できるかを見るのが今回の訓練の目的でした。

通常の避難経路は、バリケードで塞いで通れなかったため、生徒は新たな経路を探して校舎の外に出て、人員点呼により全員が無事に避難を完了したことを確認しました。

その後、体育館に場所を移動し、今回の避難訓練の振り返りをしました。一次避難・二次避難は適切だったか、ワークシートへの記入をもとにグループ協議も行いました。

久之浜中学校では、ただ避難して終わりではなく、災害に備える心構えと実践力を養う避難訓練のモデルケースとして新たな取り組みに挑戦しています。



屋外に2次避難する生徒たち



生徒会総会での議事の様子

【生徒会総会を開催】

5月2日(火)6校時に前期の活動を決める生徒会総会を行いました。前年度後期の反省を踏まえて今年度前期の活動計画等を協議しました。「協力」「勤勉」「飛躍」という校訓を実現させるために全校生で各常任委員会の活動を積極的に推進してほしいと思います。

【浜風きららオープン記念祭に本校吹奏楽部が出演】

久之浜町新商業施設「浜風きらら」が、4月20日にオープンしましたが、4月30日(日)は、オープン記念祭の一環として、本校吹奏楽部が演奏を披露しました。かなり風が強く、楽譜が飛ばされそうになりながらも、部員たちは必死で演奏していました。

浜風きららオープン記念祭で演奏する吹奏楽部員



【教育目標】

進んで学習に励み、学力の向上を目指す生徒
心身ともに健康で、たくましい生徒
礼儀正しく、心豊かな生徒



【校訓】

協力 勤勉 飛躍

文責 校長 丹野 英雄

福島県いわき市立久之浜中学校

〒979-0333

福島県いわき市久之浜町久之浜字大場72番地の1

TEL 0246-82-3021

FAX 0246-82-3026

E-mail: hisanohama-jh@city.iwaki.fukushima.jp